

御挨拶

新潟市医師会
理事 荻莊則幸

平成 25 年 7 月に当時の新潟市医師会長、佐野正俊先生が新潟市医師会骨粗鬆症連携委員会を立ち上げられました。その発端は、新潟リハビリテーション病院長の山本智章先生からの提案でした。高齢者の骨折は増加の一途をたどり、その予防として骨粗鬆症の診療をしっかりと病診連携で行っていききたい、また他職種の連携で骨粗鬆症の予防、再骨折(二次骨折)を予防していききたいというお考えのもと、「骨粗鬆症への他職種、多診療科での包括的アプローチを行うことで健康寿命の延伸に寄与するという新潟モデルの構築」を当委員会の理念としました。

その一環としまして、平成 25 年 10 月には新潟市医師会会員全員に骨密度検査、骨粗鬆症診療のアドバイス等の医療連携を構築するためのアンケート調査を行いました。その結果、上記に対する受け入れ可能な施設数 58 施設（病院 10 施設、整形外科診療所 34 施設、それ以外の診療所 14 施設）、また骨密度測定機器の種別では、体幹 D X A 法が 17 施設、末梢骨 D X A 法が 24 施設でした（当会の HP 参照）。

また、現在では脳卒中地域連携パス、各種の癌の地域連携パス、急性心筋梗塞、糖尿病にも地域によってはパスが導入されてきています。このパスの中でも大腿骨近位部骨折地域連携パスが一番最初となる平成 18 年に立ち上げられました。この地域連携パスに参加している施設との連携を図るために平成 25 年 12 月より年に 2 回行うことを目標に第 1 回再骨折予防研修会をパス会議の後に実施しました。第 1 回のこの研修会では、「寝たきりを防ぐために」という主題のもとに山本智章先生より「再骨折予防手帳の紹介」、高橋美德先生より「骨粗鬆症骨折の疫学」、島垣齋先生より「骨粗鬆症治療薬のオーバービュー」について講演を頂き、医師、看護師を初め多数の職種の皆様、約 200 名の参加がありました。

今回平成 26 年 6 月の第 2 回研修会においても同様の出席がありました。今回この研修会の総括となる報告書が完成し、研修会に対する参加者の感想を読ませていただき、今後ますます他職種の連携、地域の皆様に対する啓発活動が大切であると考えさせられました。

今後も新潟市医師会として、この連携委員会、再骨折予防研修会を推進して、地域の高齢者の皆様の健康寿命の延伸に貢献していききたいと思えます。